

令和4（2022）年度 森林環境譲与税に関する決算状況（使途の公表）

市町村名	事業区分	事業名	事業総額			事業内容	実績	税導入の効果	
			うち令和4年度の森林環境譲与税	うち基金取崩し額	うち他の財源				
高根沢町	基金積立（森林整備等）	森林環境譲与税基金	2,598,000	2,598,000	0	0	・高根沢町における森林の間伐・林業に係る人材育成及び担い手の確保、木材利用の促進や普及啓発等を目的とした森林整備及びその促進に必要な事業に要する経費の財源に充てるため、高根沢町森林環境譲与税基金を設置。	【ワンフリーズ】 税活用により、 ・森林クラウドシステムを活用し、今年度以降で調査を予定している地区の森林GIS関連の情報の整理や、意向調査実施区域の選定を行うことができた。	
高根沢町	① 意向調査の準備作業	森林クラウドシステム保守管理業務	53,900	53,000	0	900	・意向調査事前準備として、意向調査実施区域の精査、林地台帳等の森林GIS関連の情報の整備・更新を実施するもの。	・森林GIS関連の情報の整理 ・意向調査実施区域の精査	・公有林の各種整備により、危険箇所減少かつ周辺の森林の生長促進へ繋がった。 ・新型コロナウイルス感染症による影響は受けつつも、木工体験教室を実施し、木にふれあう体験を共有することができた。
高根沢町	④ 公有林整備（財産区有林含む）	里山林整備事業	150,000	150,000	0	0	・町有林の下草刈りを実施し、森林の成長促進や有害鳥獣被害の防止につなげるもの。	・下草刈り：0.885ha	【詳細】 ・高根沢町においても、本税への関心が高まっていることから、本税を活用した「主に私有林を対象とする森林経営管理制度の実施」や「倒木事故等のトラブルの未然防止へ繋げる公有林の整備」、「普及啓発を目的とした行事の開催」を計画した。 ・森林経営管理制度の実施については、森林クラウドシステムの地図にて樹種（針葉樹・広葉樹・地域森林計画対象林）ごとに色分けした地図データを用いて、意向調査実施区域の選定を行った。 ・整備した森林のデータを用いて令和5年度は直営での意向調査を進めていきたい。
高根沢町	④ 公有林整備（財産区有林含む）	枯れ木伐採業務	759,000	759,000	0	0	・町有林の枯れ木を伐採し、事故の防止や森林の成長促進につなげるもの。	・合計6本の危険木の伐採（松・コナラ） ・間伐：0.03ha	・公有林の整備については、現状限られた箇所でのみの実施となっている。他の所管課と調整し、必要な森林整備を行えるように進めていきたい。
高根沢町	⑮ 森林・林業・木材普及活動等	木の良さ普及啓発事業	340,000	340,000	0	0	・町内のNPO法人に業務委託し、主に町内の小学生を対象とした「マイ箸づくり等の木工体験教室」を年間を通して開催。木材の良さ、森林・林業への理解の醸成を図るもの。	・全25回・延べ参加人数855人	・普及啓発活動は、前年度に比べ木工体験の活動回数が10件増え体験者数も306人増加しており、引き続き木工体験を通じた木材普及活動は必要であると考えられる。